

令和6年度福井県立若狭高等学校（定時制）スクールプラン

業務改善のための取組

- ・出退勤時間調査システムを利用し、超過勤務の削減に努める。
- ・Schoolware for賢者や校内LANを活用し、業務処理を迅速化する。

人権教育の推進

- ・人権意識の向上をはかり、相互に個人として尊重する態度を養う。
- ・現代の差別問題への理解を深め、その解決へ主体的に関わろうとする態度を養う。

重点目標

教育課程・学習支援

- 個人に応じた、
- ①基礎学力の充実をはかる。
 - ②学習に対する興味・関心・意欲を高める。

生徒支援

- ①生徒会活動の充実をはかる。
- ②自他を尊重する意識を高め、自分自身の生き方をみつめさせる。

進路支援

- ①高校卒業後の進路について理解を深めさせ、将来の生活設計について考えさせる。

具体的取組

- ①自主的に学習するための課題を提供し、学習習慣の確立および基礎学力の向上をはかる。

目標：適切な課題の提供80%以上。
課題の提出80%以上。
課題への取組70%以上。

- ②主体的・対話的な授業、および探究的な学習を通して、学習に対する深い興味・関心・意欲を高める。

目標：授業の実践60%以上。
興味・関心の喚起60%以上。

具体的取組

- ①生徒会行事に主体的に取り組ませることを通して、学校生活の充実を目指す。

目標：主体的な活動に対する適切な指導80%以上。
生徒の取組70%以上。
取組への満足度70%以上。

- ②講演会や社会貢献活動(ボランティア)を通して、自分自身の生き方や自他の尊重について考えさせる。

目標：講演会・社会貢献活動(ボランティア)の実施80%以上。
自身の生き方や自他の尊重80%以上。
活動への満足度80%以上。

具体的取組

- ①進路に関する行事を通して、職業意識の啓発に努め、自らの進路について考えさせる。

目標：進路に関する行事の実施80%以上。
生徒の進路意識80%以上。
保護者の評価70%以上。

- ②将来の職業に役立つ資格の取得を目標とし少なくとも一つの資格に挑戦する。

目標：目標の合格50%以上。